

**製品名:** トポイソメラーゼ I ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab00094

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 91 kDa; Observed MW: 91 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	TOP1
別名	TOP1; DNA topoisomerase 1; DNA topoisomerase I
遺伝子 ID	7150
SwissProt ID	P11387
免疫原	ヒトトポイソメラーゼ I の合成ペプチド

## 背景

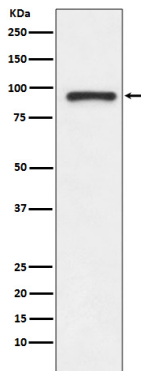
DNA 複製および転写中に導入された DNA のスーパーコイル構造とねじれ張力を、DNA 二本鎖の片方の鎖を一時的に切断・再結合さ

せることで解除します。二本鎖 DNA の標的部位でエステル交換反応により一本鎖切断を引き起こします。切断可能なリン酸ジエステルは酵素の触媒チロシンによって攻撃され、DNA-(3'-ホスホチロシル)-酵素中間体が形成され、5'-OH 基を持つ DNA 鎖が排除されます。

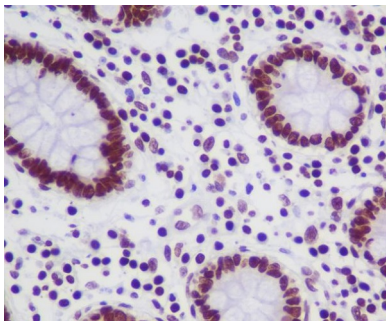
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



トポイソメラーゼ I 抗体を使用した Jurkat 溶解物中の TOP1 のウエスタンブロット分析。



TOP1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。